

実務経験のある教員による授業科目

海洋生物資源学部

	科目名	単位数	内容
1	化学実験	1	公設試験研究機関や食品会社の研究開発部門、財団法人の研究所で食品分析に従事した経験を有する教員が、食品等の化学分析に関する実習を指導する。
2	海洋生物資源学フィールド演習	2	技術士等をゲストスピーカーとして迎え、それぞれ実務経験を踏まえた講義を実施する。
3	科学者および技術者の倫理	2	技術士(水産部門)がその知識・経験に基づき、科学者および技術者の倫理について講義する。
4	水産資源利用学	2	環境省所轄財団法人研究所で食品の機能性開発に従事した経験を有する教員が、その経験を生かして、水産物の利用方法や健康機能性を学ぶ水産資源利用学を講義する。
5	食品安全管理論	2	民間食品企業の研究開発部門で食品の研究開発に従事した経験を有する教員が、食品の安全性を管理するための仕組みについて講義を行う。
6	海洋環境工学	2	水産試験研究機関に従事した経験をもつ教員が、公共事業等で実施される漁場整備の概要等を解説する。
7	水産資源学	2	水産試験場で資源管理担当の研究者として勤務した経験を有する教員が、水産資源の資源動態とその管理方法に関して解説する。
8	食品工学	2	公設試験研究機関で食品分析や食品業界からの業務相談に従事した経験を生かして加工現場の実情を踏まえた講義を行う。
9	食品保全学	2	民間食品企業の研究開発部門で食品の研究開発に従事した経験を有する教員が、食品の安全性にリスクをもたらす危害要因について講義を行う。
10	食品栄養学	2	環境省所轄財団法人の研究所で食品の機能性開発に従事した経験を有する教員が、その経験を生かして食品栄養学について講義を行う。
11	海洋地質学	2	海洋堆積物を用いた気候変動の研究の実務経験がある研究者(博物館研究員)が、海洋地質学の基礎とその応用としての気候変動学を講義を行う。
12	沿岸生態工学	2	水産試験研究機関に従事した経験をもつ教員が、公共事業等で実施される漁場整備の概要等を解説する。
13	漁業制度論	2	水産庁の指定漁業等を所管する課の法令担当等として、漁業制度、漁業交渉の実務、運営に携わってきた教員が講義を行う。
14	海洋生物資源学特別講義Ⅲ (ブルーツーリズム)	1	行政施策や企業経営のコンサルティング経験を持つ教員により、フィールドワークとグループワークを通じ課題解決に向けた実践的な観光まちづくりのプランニング手法を学ぶ。
15	地域活性化演習	1	環境省所轄財団法人の研究所で食品開発に従事した経験を有する教員がその経験を生かして、地域特産の食品開発による若狭地域活性化を目指した地域活性化演習を担当する。
16	保全生態学実習	1	環境保全型農法に関する研究と実践における活動と普及の支援を行っている現役研究員が、環境保全型農法の生態学的・社会的な意義と、植生調査手法について解説する。
17	食品化学実験	1	環境省所轄財団法人の研究所で食品成分の分析に従事した経験を有する教員が、その経験を生かして食品化学実験を担当する。
18	食品工学実験	1	公設試験研究機関または食品会社の研究開発部門に勤務した経験を有する教員が、水産物の品質制御に関する実習を指導する。
19	食品流通調査演習	1	民間食品企業の研究開発部門で食品の研究開発に従事した経験を有する教員が、食品の保存性を担保するために実践されている加工技術について指導する。
	海洋生物資源学科専門科目計	31	